

製品名: Pdc4-4 (リン酸化 Ser67) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab05223**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	56kDa

抗原情報

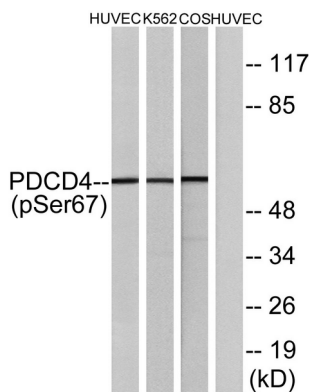
遺伝子名	PDCD4
別名	PDCD4; H731; Programmed cell death protein 4; Neoplastic transformation inhibitor protein; Nuclear antigen H731-like; Protein 197/15a
遺伝子 ID	27250.0
SwissProt ID	Q53EL6
免疫原	抗血清は、ヒト PDCD4 由来の Ser67 リン酸化部位周辺の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 33-82

背景

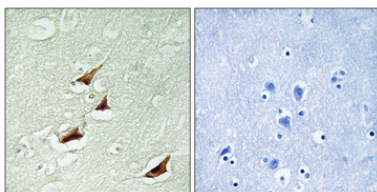
この遺伝子は腫瘍抑制因子であり、真核生物翻訳開始因子 4A1 に結合し、RNA 結合を阻害することでその機能を阻害するタンパク質をコードしています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2010 年 12 月]、注意：ここに示す配列は、Ensembl 自動解析パイプラインから得られたものであり、予備データとして考慮する必要があります。、疾患：発現の喪失は、肺癌および結腸癌の腫瘍進行と関連しています。、ドメイン：MA3 ドメインを介して EIF4A1 に結合します。、機能：腫瘍抑制因子。腫瘍プロモーター誘導性の腫瘍性形質転換を阻害します。MAP4K1 の発現をダウンレギュレーションすることで、浸潤を促進する上で重要なイベント、すなわち MAPK85 の活性化とそれに伴う JUN 依存性転写を阻害します。アポトーシスにおいて役割を果たす可能性があります。EIF4A のヘリカーゼ活性とキャップ依存性翻訳を阻害します。RNA に結合します。誘導：IL2 刺激は発現を抑制し、IL12 刺激は発現を増加させます。、配列注意：コンタミネーション配列。ポリ A 配列の可能性もあります。、類似性：PDCD4 ファミリーに属します。、類似性：2つの MI ドメインを含みます。、細胞内局在：核と細胞質の間を往復します。通常の増殖条件下では主に核内に局在します。血清非存在下では核から輸送されます。、サブユニット：EIF4A1 および EIF4A2 と相互作用します。、組織特異性：増殖細胞で発現が上昇します。乳腺上皮細胞で高発現します。、

研究分野

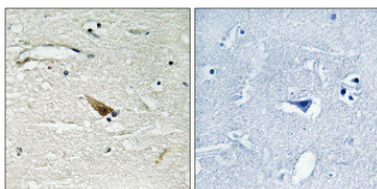
画像データ



PDCD4 (リン酸化 Ser67) 抗体を用いた HUVEC 細胞、K562 細胞、COS-7 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。